

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（アートクラフト）科目：（工業技術基礎） 年間授業計画

教科：（アートクラフト）科目：（工業技術基礎）

単位数：（3）単位

対象：（第1学年 アートクラフト科）

教科担当者：

使用教科書：（ 実教出版 「工業技術基礎」 ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	【ガイダンス】	作業服、工具（ヤスリ・製図道具、画用具）の確認により、安全な作業計画を立てることが出来る。		2
5月	【ノギス計測】	ノギスの基本的構造を理解し、パーニア目盛りの読み方を知ることが出来る。 外径、内径、深さの測り方を知り、製作に応用できる。		4
6月	【罫書、ボール盤】	金属に指定された寸法のケガキを行うことが出来る。 ボール盤の使用法を知り、きれいな穴を正確にあけることが出来る。		4
7月	【第三角法による正投影図】	立体物の品物を寸法通りに三面図を描く事ができる。	[評価の観点] 授業態度, 教員の発問に対する受け答え、自発的な準備や質問、課題の制作状況・課題作品の仕上がりなどを総合的に判断して3観点により評価する。	2
8月			・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	
			[評価方法] 1. 課題に取り組む姿勢 2. 学習内容の理解と技術習得	
9月	【ペーパーナイフの制作】	デザインの考案	3. アイデアや表現力、創意工夫、共感性と説明力 4. 作品の完成度（仕上がり具合）と提出状況 5. 出席状況 等を総合的に考慮して評価を行う。	3
10月	【ペーパーナイフの制作】	制約内でデザインスケッチが描ける, 材料加工		2
11月	【ペーパーナイフの制作】	きれいに糸鋸で真鍮を切り抜ける。切削箇所合ったやすりを選択できる。		4
12月	【ペーパーナイフの制作】	カッター部作製で、斜め45度の切削が均等に出来ている。細部仕上げ・磨きで、傷なく仕上がっている。		3
1月	【フォトスタンドの制作】	デザインの考案・スケッチ制約内で実現できる。		3
2月	【フォトスタンドの制作】	ガラス加工練習・ハンダ加工練習で道具の使い方を理解している。		2
3月	【フォトスタンドの制作】	電気炉の取り扱いを理解している。フレーム制作・スタンド制作で、歪みのない本体が制作できている。仕上げ加工で、はんだの処理などきれいに仕上げる。		2

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：(工業) 科目：(工業情報数理) 年間授業計画

教科：(工業) 科目：(工業情報数理)

単位数：(2) 単位

対象：(第1学年 アートクラフト科)

教科担当者：)

使用教科書：(工業情報数理 [実教出版])

使用教材：()

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス	教科書の確認、使用教室の座席等		2
5月	【産業社会と情報技術】	コンピューターの歴史 情報技術の発展と産業社会		6
6月	【コンピュータの基本操作】 【情報と生活】	プログラム作成に必要なソフトウェア・アプリケーションソフトの種類を理解できる。		10
7月	【ソフトウェア】 【情報化社会の光と影】	プログラム作成に必要なソフトウェア・アプリケーションソフトの種類を理解できる。		4
8月			出席・授業態度・作品の進捗状況・プレゼンテーションを総合的に判断して評価する。[評価の観点] 授業態度, 教員の発問に対する受け答え、自発的な準備や質問、課題の制作状況・課題作品の仕上がりなどを総合的に判断して3観点により評価する。	
9月	【BASICによるプログラミング】 【コンピュータの特徴】	プログラム言語、簡単なプログラミング、四則計算のプログラム、文字データ・データの読み方、データ通信・マルチメディア・コンピュータ制御の実用例を把握できる。	・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	8
10月	【ワード・時間割の作成】 【コンピュータの発達】	パソコンの立ち上げ、シャットダウンの基本操作ができる。 ワードの初期設定が出来る。 罫線で表が作成できる。	[評価方法] 1. 課題に取り組む姿勢 2. 学習内容の理解と技術習得 3. アイデアや表現力、創意工夫、共感性と説明力 4. 作品の完成度(仕上がり具合)と提出状況	6
11月	【地図の作成】 【フローチャートの作図】 【情報化の進展と産業社会】	オートシェープを活用して、簡単な地図、フローチャートが作成できる。	5. 出席状況等を総合的に考慮して評価を行う。	6
12月	【定期考査(実技試験)】 【情報化社会のモラルと管理】	学習したワードの扱いを体系的に理解できている。エクセルの使い方を理解できている。		6
1月	【エクセル・商品のグラフ、気象・気温の推移グラフ】 【情報セキュリティの管理】	用途に応じたグラフが選択、作成できる。		4
2月	【円グラフ、折れ線グラフ、棒グラフ】 【関数の挿入】 【総合学習】	SUM、RANK関数等を挿入した関数グラフが作成できる		6
3月	【定期考査】	学習したエクセルの扱いを体系的に理解できている		2

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフトデザイン実習） 年間授業計画

教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフトデザイン実習）

単位数：（3）単位

対象：（第2学年 アートクラフト科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	【イニシャルパッチの制作】	真鍮台座の制作		1
5月	【イニシャルパッチの制作】	真鍮台座の制作・仕上げ		3
6月	【イニシャルパッチの制作】	文字盤のデザイン・切抜き		4
7月	【イニシャルパッチの制作】	文字盤のヤスリ掛け、かまぼこ削り ペーパー掛け	[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な準備や質問、課題の制作状況・課題作品の仕上がりなどを総合的に判断して3観点により評価する。	1
8月			・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度 [評価方法] 1. 課題に取り組む姿勢 2. 学習内容の理解と技術習得 3. アイデアや表現力、創意工夫、共感性と説明力 4. 作品の完	
9月	【イニシャルパッチの制作】	文字盤の研磨、ロウ付け、仕上げ	[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	2
10月	【線引き・平塗りの練習】	溝引き定規を用いて、ポスターカラーのムラの無い着彩ができる。	[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況 5. 出席状況	2
11月	【明朝体レタリング】	溝引き定規を用いて、ポスターカラーのムラの無い着彩ができる。	[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況 5. 出席状況	3
12月	【明朝体による絵文字】	明朝体のレタリングを、部首を選択して、きれいな平塗りで仕上げることができる。	等を総合的に考慮して評価を行う。成度（仕上がり具合）と提出状況 5. 出席状況 等を総合的に考慮して評価を行う。	3
1月	【明朝体による絵文字】	一字の明朝体の一部を絵画化した絵文字を制作する。部首を活かしたデザインになっている。		3
2月	【明朝体による絵文字】	一字の明朝体の一部を絵画化した絵文字を制作する。部首を活かしたデザインになっている。		3
3月	【明朝体による絵文字】	一字の明朝体の一部を絵画化した絵文字を制作する。部首を活かしたデザインになっている。		1

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフト実習） 年間授業計画

教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフト実習）

対象：（第 2 学年 アートクラフト科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

単位数：（3）単位

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	【3D CAD】	3 design cadの基本操作が理解できるか		2
5月	【3D CAD】	3 design cadの基本操作が理解できるか		4
6月	【3D CAD】	課題の内容を理解しているか		4
7月	【3D CAD】	デザイン考案 スケッチが、制約に収まっているか	[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な準備や質問、課題の制作状況・課題作品の仕上がりなどを総合的に判断して3観点により評価する。	2
8月			・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度 [評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。	
9月	【3D CAD】	材料加工	・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度	3
10月	【スタンドグラスボックスデザイン考案、ガラスのカッティング】	スタンドグラスの制約を理解し、オリジナルのデザインを考えられる。	[評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況 5. 出席状況	2
11月	【デザインに合わせてガラスのカッティング】	デザインに合わせて、色ガラスのカッティングが出来る。無駄の無い板取が出来る。	等を総合的に考慮して評価を行う。 [評価方法] 1. 課題に取り組む姿勢 2. 学習内容の理解と技術習得	4
12月	【デザインに合わせてガラスのカッティング】	デザインに合わせて、色ガラスのカッティングを行う。	3. アイデアや表現力、創意工夫、共感性と説明力 4. 作品の完成度（仕上がり具合）と提出状況 5. 出席状況 等を総合的に考慮して評価を行う。	3
1月	【スタンドグラスボックス組み立て】	カッティングしたガラスの半田付けで、はんだを適切に盛ることが出来る。		3
2月	【スタンドグラスボックス組み立て】	カッティングしたガラスの半田付けで、はんだを適切に盛ることが出来る。		2
3月	【スタンドグラスボックス組み立て】	カッティングしたガラスの半田付けで、はんだを適切に盛ることが出来る。		2

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフト製図） 年間授業計画

教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフト製図）

対象：（第2学年 アートクラフト科）

教科担当者：

使用教科書：（ デザイン製図 ）

使用教材：（ 製図器具、三角定規等 ）

単位数：（2）単位

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	基礎製図	立体図から三面図に起こすことができる。	[評価の観点] 授業態度、教員の発問に対する受け答え、自発的な質問、課題の提出状況などを総合的に判断し、3観点により評価をする。 ・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度 [評価方法] 1. 制作に取り組む態度 2. 学習内容の理解 3. 作品の完成度 4. 作品の提出状況 5. 出席状況 等を総合的に考慮して評価を行う。	2
5月	基礎製図	三面図から立体図に起こすことができる。		4
6月	基礎製図	補助投影図をコンパス・定規を用いて正確に描くことができる。		4
7月	基礎製図 定期考査	展開図を描くことができる。		2
8月				
9月	デザイン製図	製図の実際（図面作成）		3
10月	デザイン製図	製図の実際（図面作成）		2
11月	デザイン製図	製図の実際（図面作成）		4
12月	デザイン製図 定期考査	製図の実際（図面作成）		3
1月	デザイン製図	製図の実際（図面作成）		3
2月	デザイン製図	製図の実際（図面作成）		2
3月	デザイン製図 定期考査	製図の実際（図面作成）		2

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフトデザイン実習） 年間授業計画

教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフトデザイン実習）

単位数：（3）単位

対象：（第3学年 アートクラフト科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	鋳金	制約内でのデザインスケッチ画が描ける		2
5月	鋳金	ワックスの特性を理解し、スパチュラ等の道具を的確に使用できている		4
6月	鋳金	デザイン通りのワックス原型が出来ている		4
7月	鋳金	石膏でワックスを固める原理を理解している。脱ロウ、気泡抜き等、細かい点に気を配っている		2
8月			●関心・意欲・態度 授業態度 技術の向上 制作意欲 提出期限を守っている	
9月	鋳金	鋳込み・磨きで、より完成度の高いものになっている	●思考力・判断力 表現方法を工夫し、自らの制作意図を造形できている	3
10月	【画像処理ソフトの使い方、画像の加工】	画像処理ソフトの使い方を学ぶ。パスの使い方が理解できる	●技能・表現 道具の使い方に工夫がみられ、適切な道具選択、丁寧な作業をしている	2
11月	【画像処理ソフトの使い方、着色方法】	画像処理ソフトの使い方を学ぶ。パスの使い方が理解できる	●知識・理解 ワックスの特性を理解し、ロストワックス技法を使ってレベルの高い作品を制作できている。	4
12月	【ご当地紙袋デザインの制作】	画像処理ソフトの使い方を学ぶ。パスの使い方が理解できる		3
1月	【ご当地紙袋デザインの制作】	画像処理ソフトの使い方を学ぶ。パスの使い方が理解できる		3
2月	【ご当地紙袋デザインの制作】	画像処理ソフトの使い方を学ぶ。使用方法を理解し、応用ができています。		2
3月	【ご当地紙袋デザインの制作】	計画的に作業ができ、完成している。		2

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフト実習） 年間授業計画

教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフト実習）

単位数：（4）単位

対象：（第3学年 アートクラフト科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	【切嵌めによる朱肉入れ制作】	・切嵌象嵌の技法を理解している。 ・黄銅、洋白、銅3種類の金属特性を理解している。	●関心・意欲・態度 授業態度 技術の向上 制作意欲 提出期限を守っている ●思考力・判断力 金属による色を使って、表現方法を工夫し、自らの制作意図を分かりやすく造形できている ●技能・表現 道具の使い方に工夫がみられ、適切な道具選択、丁寧な作業をしている ●知識・理解 3種類の金属の性質、ガスバーナーなどの危険を伴う器具の正しい取り扱いを理解して、美しい作品を作っている。	2
5月	【切嵌めによる朱肉入れ制作】	・デザインの考案 ・各金属の色を理解し、モチーフに取り入れているか。		4
6月	【切嵌めによる朱肉入れ制作】	・切り出し、切嵌、接合（はぎあわせ） ・隙間なくすり出して、金属板にがたつきがないか。		4
7月	【切嵌めによる朱肉入れ制作】	・ろう付け作業で金属固有の融点を理解し、作業できたか。		2
8月				
9月	【切嵌めによる朱肉入れ制作】	・ヤスリによるろう払い。余分な銀ろうを取り除けているか。 ・ペーパー＃1000までかけて鏡面、研磨剤をかけ完成		3
10月	【スプーン制作】	安全に配慮した作業ができている。		2
11月	【スプーン制作】	計画的に作業ができている。		4
12月	【スプーン制作】	金属を意識した作業ができている。		3
1月	【スプーン制作】	安全に配慮した作業ができている。		3
2月	【スプーン制作】	安全に配慮した作業ができている。		2
3月	【スプーン制作】	安全に配慮した作業ができている。		2

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（アートクラフト）科目：（金属工芸実習） 年間授業計画

教科：（アートクラフト）科目：（金属工芸実習）

対象：（第 3 学年 アートクラフト科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

単位数：（4）単位

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	【鍛金ミルクパンの制作】	直径230mmに銅版を切り抜き、焼きなます。酸洗いする。金切鉄の使い方を理解できる。	●関心・意欲・態度 授業態度 技術の向上 制作意欲 提出期限を守っている ●思考力・判断力 表現方法を工夫し、自らの制作意図を造形できている ●技能・表現 糸鋸、ヤスリなど道具の使い方に工夫がみられ、適切な道具選択、丁寧な作業をしている 鍛金の絞り技法を理解し、正しい姿勢、美しい鋸目の作品を仕上げる事が出来る ●知識・理解 金属特性を理解し、透かし技法を使ってレベルの高い作品を制作できている。	2
5月	【鍛金ミルクパンの制作】	当て金による絞り底径を侵さずに、均等な力で樋目をつける事が出来る		4
6月	【鍛金ミルクパンの制作】	絞りが効率よく行える。（生徒によっては、への字当て金使用）		4
7月	【鍛金ミルクパンの制作】	均し打ち、仕上げ研磨 美しい樋目に仕上がっている		2
8月				
9月	【照明器具の制作】	安全に制作している。		2
10月	【照明器具の制作】	デザインを考えられる。器具の使用方法を理解している。		4
11月	【照明器具の制作】	デザインを考えられる。器具の使用方法を理解している。		4
12月	【照明器具の制作】	計画的に作業できている。安全に器具を使用している。		2
1月	【照明器具の制作】	計画的に作業できている。安全に器具を使用している。		2
2月	【照明器具の制作】	計画的に作業できている。安全に器具を使用している。仕上げがきれいにできている。	3	
3月	【照明器具の制作】	計画的に作業できている。安全に器具を使用している。仕上げがきれいにできている。	3	

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフトデザイン実習） 年間授業計画

教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフトデザイン実習）

単位数：（3）単位

対象：（第4学年 アートクラフト科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	【実用性のある工芸品の制作】	課題内容を理解し、創造的な学習ができている。	●関心・意欲・態度 授業態度 技術の向上 制作意欲 提出期限を守っている ●思考力・判断力 生活に役立つ工芸品を自ら考え、表現方法を工夫し、4年間で学んだ技法を使って自らの制作意図を造形できている ●技能・表現 道具の使い方に工夫がみられ、適切な道具選択、丁寧な作業をしている 分かりやすいプレゼンテーションが出来ている。 自画像エスキスに丁寧に取り組み、工夫したカラージュ表現を試み、作品に反映させようとしている。 ●知識・理解 制作にいたる工程を理解し、正しい工具選択、課題内容を理解している。	2
5月	【実用性のある工芸品の制作】	制作できるか自発的に考えている。		4
6月	【実用性のある工芸品の制作】	各工程、機材などの取り扱い方法を理解し、デザインに沿った制作ができる。		4
7月	【実用性のある工芸品の制作】	各工程、機材などの取り扱い方法を理解し、デザインに沿った制作ができる。		2
8月				
9月	【実用性のある工芸品の制作】	各工程、機材などの取り扱い方法を理解し、デザインに沿った制作ができる。		3
10月	【自画像カラージュの制作】	課題内容を理解している。		2
11月	【自画像カラージュの制作】	制作の計画立てができている。		4
12月	【自画像カラージュの制作】	画用具の使用方法を理解し、デザインに沿った使用ができている。		3
1月	【自画像カラージュの制作】	画用具の使用方法を理解し、デザインに沿った使用ができている。		3
2月	【自画像カラージュの制作】	画用具の使用方法を理解し、デザインに沿った使用ができている。		2
3月				2

工芸高等学校定時制 令和4年度 教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフト実習） 年間授業計画

教科：（アートクラフト）科目：（アートクラフト実習）

単位数：（4）単位

対象：（第 4 学年 アートクラフト科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	【彫金 打ち出しレリーフ制作】	安全作業ができている。	<ul style="list-style-type: none"> ●関心・意欲・態度 授業態度 技術の向上 制作意欲 提出期限を守っている ●思考力・判断力 生活に役立つ工芸品を自ら 考え、表現方法を工夫し、 4年間で学んだ技法を使って 自らの制作意図を造形でき ている ●技能・表現 道具の使い方に工夫がみら れ、適切な道具選択、丁寧 な作業をしている 分かりやすいプレゼンテー ションが出来ている。 ●知識・理解 制作にいたる工程を理解 し、正しい工具選択、課題 内容を理解している。 	2
5月	【彫金 打ち出しレリーフ制作】	計画的に作業ができている。		4
6月	【彫金 打ち出しレリーフ制作】	安全作業ができている。		3
7月	【彫金 打ち出しレリーフ制作】	安全作業ができている。		3
8月				
9月	【彫金 打ち出しレリーフ制作】	仕上げがきれいにできている。		2
10月	【鍛金花器の制作】	材料の取り方が理解できる。金切鉋で銅を円形に切り取れる。		2
11月	【鍛金花器の制作】	火の取扱い・薬品の取扱い		4
12月	【鍛金花器の制作】	絞り加工に必要な工具の取扱い方法を理解している。絞り加工から均し・仕上げへのテクニックが効率よく出来ているか。		3
1月	【鍛金花器の制作】	仕上げ加工、活けこみ、研磨が丁寧に出来ているか。焼鈍し・酸洗いの仕方が分かる。		3
2月	【鍛金花器の制作】	加工に必要な工具の取扱いについて絞り加工から均し・仕上げへのテクニックが効率よく出来ているか。		2
3月				

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（アートクラフト）科目：（課題研究） 年間授業計画

教科：（アートクラフト）科目：（課題研究）

単位数：（4）単位

対象：（第4学年 アートクラフト科）

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	【実用性のある工芸品の制作】	課題内容を理解し、創造的な学習ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ●関心・意欲・態度 授業態度 技術の向上 制作意欲 提出期限を守っている ●思考力・判断力 生活に役立つ工芸品を自ら考え、表現方法を工夫し、4年間で学んだ技法を使って自らの制作意図を造形できている ●技能・表現 道具の使い方に工夫がみられ、適切な道具選択、丁寧な作業をしている 分かりやすいプレゼンテーションが出来る。 ●知識・理解 制作にいたる工程を理解し、正しい工具選択、課題内容を理解している。 	2
5月	【実用性のある工芸品の制作】	制作できるか自発的に考えている。		4
6月	【実用性のある工芸品の制作】	各工程、機材などの取り扱い方法を理解し、デザインに沿った制作ができる。		4
7月	【実用性のある工芸品の制作】	各工程、機材などの取り扱い方法を理解し、デザインに沿った制作ができる。		2
8月				
9月	【実用性のある工芸品の制作】	各工程、機材などの取り扱い方法を理解し、デザインに沿った制作ができる。		3
10月	【実用性のある工芸品の制作】	各工程、機材などの取り扱い方法を理解し、デザインに沿った制作ができる。		2
11月	【実用性のある工芸品の制作】	各工程、機材などの取り扱い方法を理解し、デザインに沿った制作ができる。		4
12月	【実用性のある工芸品の制作】	各工程、機材などの取り扱い方法を理解し、デザインに沿った制作ができる。		3
1月	【実用性のある工芸品の制作】	各工程、機材などの取り扱い方法を理解し、デザインに沿った制作ができる。		3
2月	【実用性のある工芸品の制作】プレゼンテーション	制作した課題についてのプレゼンテーションができていますか。		2
3月				